

スクール・ニューディール構想とトイレエコ改修

トイレ改修も補助対象です

1. 「スクール・ニューディール構想」概要

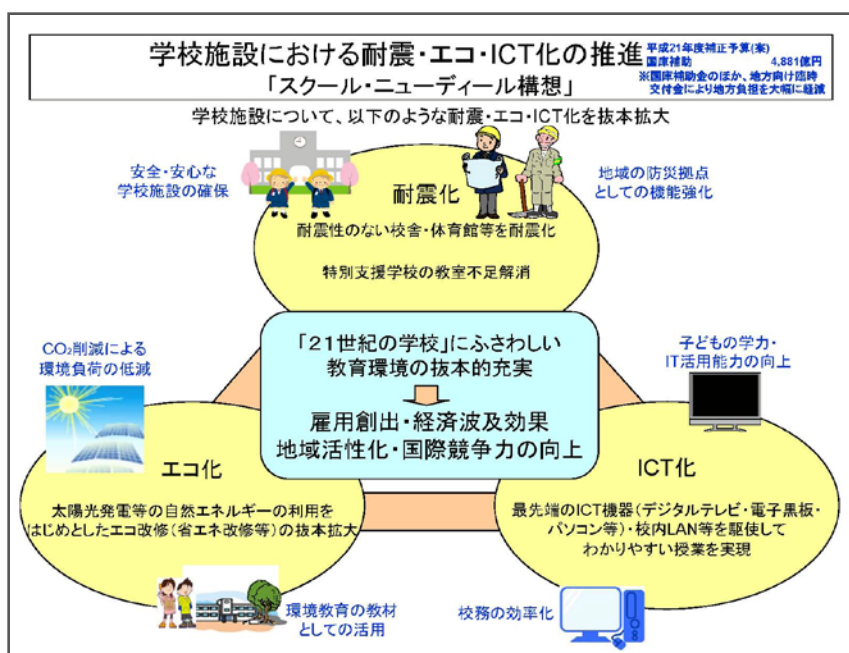
政府の緊急経済対策として、平成21年4月、「スクール・ニューディール構想」が提唱されました。地方自治体の負担を軽減するために1兆円を越える補正予算が組まれています。文部科学省・経済産業省が「21世紀の学校」にふさわしい教育環境の抜本的充実を図るこの構想では、学校耐震化の早期推進、太陽光発電の導入をはじめとしたエコ改修、ICT環境の整備等を一体的に推進することとしています。

推進事項

- 耐震化
- エコ化
- ICT化

目的

- 教育環境の充実
- 地域経済活性化



経済産業省の説明資料『「スクール・ニューディール構想」に向けて』より

経済産業省の案内はこちら

http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/enetai/20090602_SchoolNewDeal.html

文部科学省の案内はこちら

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/06/attach/1270335.htm

2. 「スクール・ニューディール構想」の展開例

スクール・ニューディール構想は、耐震化補強工事、太陽光発電、電子黒板等の導入に加え、トイレの改修も対象となります。節水便器による節水が、CO₂削減に貢献します。

●文部科学大臣通達

「スクール・ニューディール構想」推進に関するお願い

平成21年6月16日

文部科学大臣 **塩谷立**

2 **学校のエコ化の推進**
～略～

このため、今回、学校への太陽光発電の拡大を、学校施設整備の最重要課題の一つとして、強力に推進することとした。学校への太陽光発電導入のほか、二重サッシや断熱ガラス、断熱材、節水型トイレ、省エネ機器の導入による省エネ改修や校庭の芝生化、ビオトープの設置等学校のエコ改修のための予算を今回の補正予算において確保しておりますので、この機会を活用し、各地方公共団体の積極的な取組をお願いします。

節水型トイレ

●経済産業省説明資料

「スクール・ニューディール構想」に向けて



トイレのエコ改修が対象に！

■省エネ機器への取替え
節水便器、電気便座

3. トイレエコ改修

暗いトイレにおびえながら、臭いトイレに息を止めて使っている子ども達があります。この機会に学校トイレの環境改善をおすすめいたします。



①太陽光発電導入にともなうトイレ改修

太陽光発電導入などのエコ改修にともない、トイレもエコ改修。節水がCO₂削減にも貢献。水量計を設置しエコ教育も実施。

(福岡県北九州市立曾根東小学校)



植栽による遮光



太陽光発電



エコ教育(水量計)



②耐震補強工事にともなうトイレ改修

災害避難時にはトイレが最大の課題。災害避難場所としてのユニバーサルデザイン化

文部科学省資料HPより



- 和式トイレが使えないお年寄りに対する洋式化
- 車いす使用者・オストメイトに対応した多目的トイレ設置



耐震補強工事にあわせて、多目的トイレを設置。(大阪狭山市立南第二小学校)

4. 節水便器・電気便座のご紹介

経済産業省のスクール・ニューディール説明資料(『「スクール・ニューディール構想」に向けて』)では、トイレ「節水便器・電気便座」への取替えが紹介されています。



◇節水便器・電気便座でエコ

節水便器・電気便座へ取り替えた場合の節水効果をご紹介します。

1回使用あたり13L流していた従来の便器を、6Lの節水便器に取り替えるだけで、学校1校あたり、年間約136万Lの節水、約95万円の節約、約803kgのCO₂削減に繋がります。(生徒300人、教職員20人の場合)

電気便座(温水洗浄便座)をつけても、節水便器の大きな節水効果により、エコは推進されます。

●節水便器でエコ

現在学校に多く設置されている便器

13 L / 回



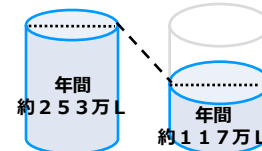
節水便器
6 L / 回



スクール・ニューディール向け節水器具

節水量
約136万L/年

節約金額
約95万円/年



CO₂削減量
約803kg/年

学校1校での取替え効果
(生徒300人、教職員20人)

●電気便座をつけてもエコ

13 L / 回
電気便座なし



電気便座なし

6 L / 回
電気便座あり



電気便座
(温水洗浄便座)

節水量
約134万L/年

節約金額
約93万円/年

使用電気量
約1482kWh/年

CO₂削減量
約232kg/年

◇トイレ空間まるごと節水化

節水大便器、電気便座(温水洗浄便座)に加え、擬音装置や節水小便器、節水自動水栓への取替えにより、大幅なエコが実現できます。

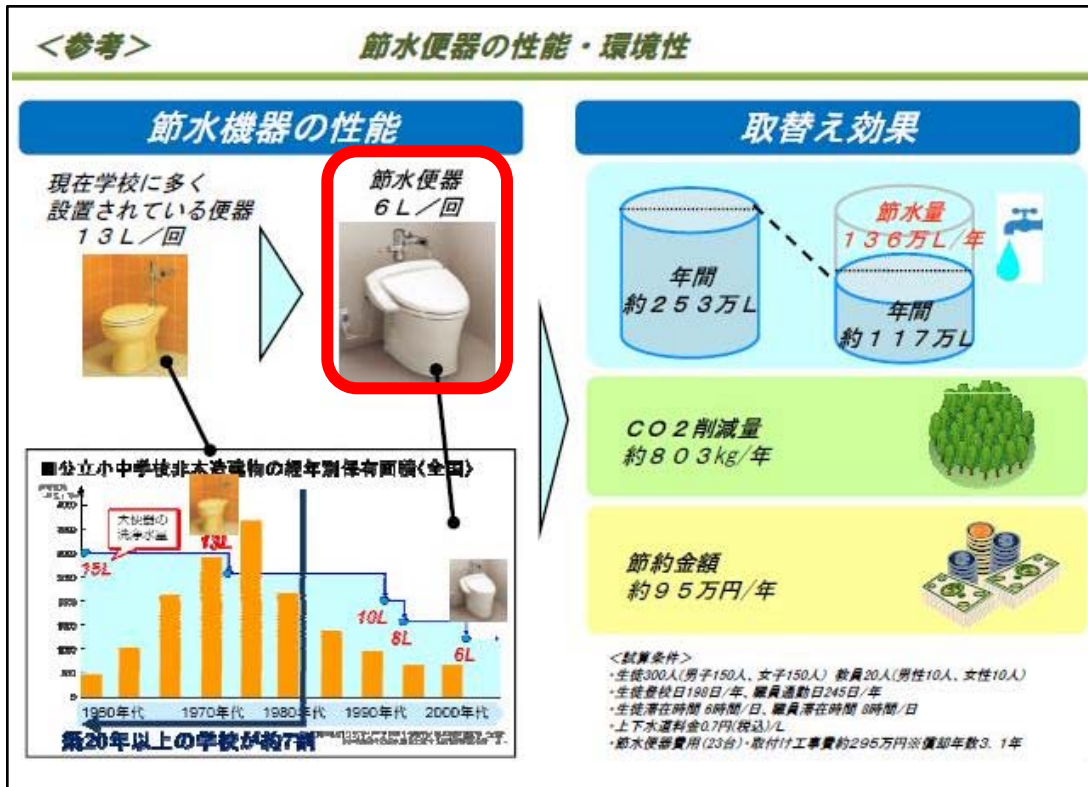


<試算条件>

- ・生徒300人(男子150人 女子150人) 教員20人(男性10人 女性10人)、・生徒登校日198日/年、職員通勤日245日/年、滞在時間・・・生徒6時間/日、職員8時間/日、・1日(活動時間16時間)の用便回数・・・大便・男性1回 女性1回、小便・男性6回 女性5.2回、洗面・男性6回 女性5.2回 (学校滞在中トイレ使用回数は滞在時間比で算出)、・器具数・・・男子トイレ→洗面器8、大便器・電気便座(温水洗浄便座)8、小便器11、女子トイレ→洗面器11、大便器・電気便座(温水洗浄便座)15、擬音装置15、
- ・1回使用あたりの洗浄回数・・・男性大便器1.49回、女性大便器2.29回(擬音装置ありの場合1.53回)、男性小便器1回、
- ・音姫使用回数(女性)・・・大便時2回・小便時1回、
- ・洗面水栓の流量・使用時間・・・従来品7L/分・16秒、自動水栓2L/分・14秒
- ・温水洗浄便座は瞬間式。使用電気量は2012年省エネ基準にて試算。
- ・上下水道料金0.697円(税込)/L(東京都)、電気料金12円(税込)/kWh(東京電力・業務用・年平均)、
- ・水のCO₂換算係数 0.59kg/立方メートル、電気のCO₂換算係数0.378kg/kWh (経済産業省 省エネ・防犯住宅推進委員会「省エネ・防犯住宅推進アプローチブック」より)

スクール・ニューディール向け節水便器のご紹介

経済産業省『スクールニューディール構想に向けて』から抜粋



【参考】学校のトイレの改修例につきましては、「学校のトイレ研究会」のホームページ(<http://school-toilet.jp/>)に、具体例が掲載されております。